詰め替えインク マルチタイプ取説 Black 1 °

SANWA SUPPLY

マルチタイプ 共通

つめかえインク 取扱説明書

キヤノン
BCI-9BK、BCI-7e・7シリーズ
BCI-6シリーズ、BCI-5シリーズ
BCI-3シリーズ
のつめかえ方法

- ご使用に際しては、必ず説明書をよく読んでから、つめかえ作業を行ってください。
- 対応カートリッジ以外にはご使用になれませんので、ご注意ください。
- マルチタイプ以外のインクでつめかえたカートリッジには使用しないでください。

取扱説明書に記載している会社名及び製品はキヤノンの商標または商標登録です。
本製品はキヤノン及び同社の製品とは一切関係ありません。
製品仕様は予告なしに変更させていただくことがあります。

サンワサプライ株式会社

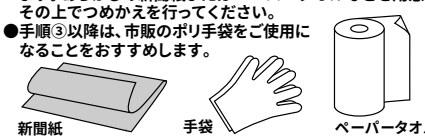
最初にご確認ください。

必要なもの
- ●インク ●プラグ
- ●穴あけネジまたはつめかえ工具
- ●インク供給口キャップ

※つめかえ工具を使用する場合はキャップは不要です。
※数量はパッケージをご覧ください。
※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

準備1 汚れ防止のための準備

- ●つめかえのときにインクがこぼれて、周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙またはペーパータオルなどを用意し、その上でつめかえを行ってください。
- ●手順③以降は、市販のポリ手袋をご使用になることをおすすめします。



1 インク供給口キャップでフタをする

穴あけネジを使用する場合

インク補充の際にインクが漏れるのを防ぐため、供給口に付着しているインクを完全に拭き取り、インク供給口キャップでフタをします。

注意
- インクを完全に拭き取り、しっかりとフタをしないとインクがこぼれる恐れがあります。
- BCI-3eBKはキャップ大、それ以外のカートリッジはキャップ小を使用してください。
- インク供給口キャップを長時間つけたままにしないでください。ヘッド部を傷つける場合があります。

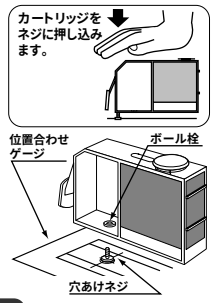
つめかえ工具を使用する場合

キャップでフタをする必要がありません。つめかえ工具にはキャップの機能が付いています。

2 カートリッジにインク注入口をあける

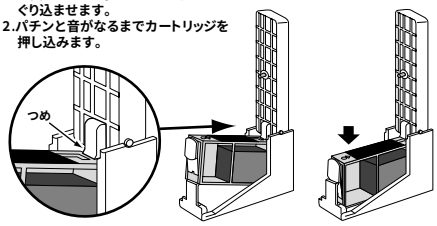
穴あけネジを使用する場合

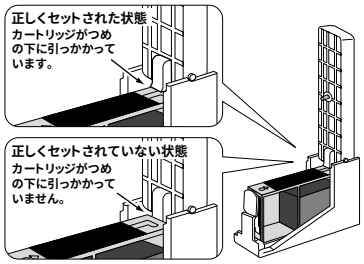
1. 図で示すところにカートリッジのボール栓があり、このボール栓をカートリッジの中に落とし注入口にします。
2. ボール栓落とし用の穴あけネジを両面テープかセロハンテープを使って、取扱説明書の位置合わせゲージの丸円に固定してください。
3. 位置合わせゲージの線にカートリッジを合わせると、ボール栓とネジが合います。
4. カートリッジを台と平行にして、上からネジにカートリッジを押し込むようにして体重(力)を加えてください。
5. ボール栓がカートリッジのタンクの中に落ちれば完了です。ボール栓はタンクの中に残りますがインクの流れには問題ありません。



つめかえ工具を使用する場合

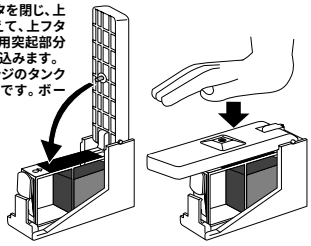
1. 工具のつめの下にカートリッジをもぐり込ませます。
2. パチンと音がなるまでカートリッジを押し込みます。





注意 カートリッジを正しくセットしないとインクが漏れる、正しく穴が空かない、カートリッジがはずれないといったトラブルの原因となります。

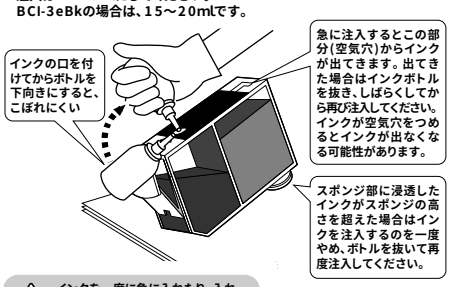
3. そのまま工具の上フタを閉じ、上から体重（力）を加えて、上フタについている穴あけ用突起部分をカートリッジに押し込みます。
4. ボール栓がカートリッジのタンクの中に落ちれば完了です。ボール栓はタンクの中に残りますがインクの流れには問題ありません。



3 インクを注入する

穴あけネジを使用する場合

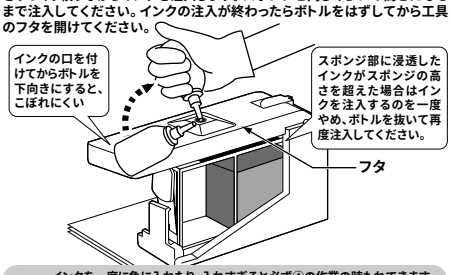
カートリッジをひっくりかえし、ネジを抜きます。
インクボトルのノズル先を水平より上に持って、注入口にノズルの先端を合わせます。そのままインクボトルが垂直になるように起こして差し込みます。図のようにカートリッジをかたむけて、ボトルをゆっくり絞りながらインクを注入します。
インクは3回に分けて注入してください。
スポンジと同じくらいの高さになるまで注入してください。
※注入は7～10mlにしてください。
BCI-3eBkの場合は、15～20mlです。



注意 インクを一度に急に入れたり、入れすぎると必ず④の作業の時もれてきます。注意して注入してください。

つめかえ工具を使用する場合

つめかえ工具はカートリッジスタンドとしてそのまま使えます。カートリッジをつめかえ工具にセットしたまま、工具の上面の穴（インク注入口になります。）からインクを注入します。
インクボトルのノイズ先を水平より上に持って、注入口にノズルの先端を合わせます。そのままインクボトルが垂直になるように起こして差し込みます。ボトルをゆっくり絞りながらインクを注入します。スポンジと同じくらいの高さになるまで注入してください。インクの注入が終わったらボトルをはずしてから工具のフタを開けてください。

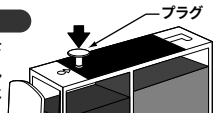


注意 インクを一度に急に入れたり、入れすぎると必ず④の作業の時もれてきます。注意して注入してください。
つめかえ工具は、2色以上のつめかえを同じ工具で行う場合は残ったインクを水で流し、ふきとってから使用してください。

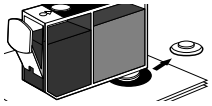
4 注入口にプラグを差し込む

穴あけネジを使用する場合

注入口からこぼれたり付着したインクをティッシュペーパーなどで拭き取ります。
付属のプラグを注入口に差し込み、インクが漏れないようにプラグでしっかりとフタをします。



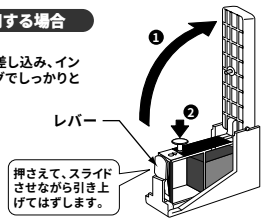
インク供給口のキャップをとり、インク吸収シートの上に10〜20秒置いて余分なインクを除いてください。その後、インク供給口からインクが出てこないことを確かめてからプリンタにセットしてください。



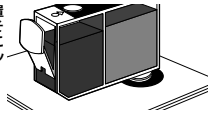
⚠ 注意
・インクがこぼれている状態でカートリッジをプリンタに装着しないでください。
・注入口にプラグがしっかり差し込まれていないと、インクがとまらない場合があります。しっかりとプラグを差し込んでください。

つめかえ工具を使用する場合

1.工具の上フタを開けます。
2.付属のプラグを注入口に差し込み、インクが漏れないようにプラグでしっかりとフタをします。
3.レバーを押さえながらカートリッジを引き上げ、工具から取り外します。



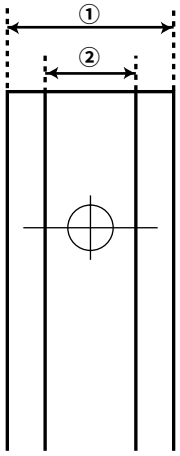
4.インク吸収シートの上に10〜20秒置いて余分なインクを除いてください。その後、インク供給口からインクが出てこないことを確かめてからプリンタにセットしてください。



⚠ 注意
・インクがこぼれている状態でカートリッジをプリンタに装着しないでください。
・注入口にプラグがしっかり差し込まれていないと、インクがとまらない場合があります。しっかりとプラグを差し込んでください。

位置合わせゲージ

カートリッジサイズ
①BCI-9BK、BCI-3eBK
②BCI-7e・7シリーズ、BCI-6シリーズ、BCI-5シリーズ、BCI-3eシリーズ



●つめかえたあとの作業について

つめかえ手順はBCI-9BK・BCI-7e・BCI-7シリーズ共通ですが、その後は使用プリンタの機種によって作業が分かれます。

A 2005年モデル	iP9910 / iP8600 / iP8100 / iP7100 iP6100D / iP4100 / iP4100R iP3100 / MP900 / MP790 / MP770	インク残量検知機能無効操作の必要はありません。カートリッジをプリンタに取り付けて手順⑤を行ってください。
B 2006年モデル	iP7500 / iP6600D / iP5200R iX5000 / iP4200 MP950 / MP830 / MP800 / MP500 Pro9000	インク残量検知機能無効操作の必要があります。カートリッジをプリンタに取り付けて下記の手順に従ってください。
C 2007年モデル	MP960/MP600/MP810/MP510	本書のMPシリーズ説明へ
	iP4300/iP3300	本書のiPシリーズ説明へ
	MP460/iP1700(※1) iP6700D(※2)	つめ替え取扱説明書「⑤インク残量検知機能無効操作について」を参照ください。

※1:2006年モデル（MP450・iP2200）と同様の操作方法となります。
※2:2006年モデル（iP6600D）と同様の操作方法となります。
※2006年モデルをお使いの方は、若干作業が異なります。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

MPシリーズ　基本的にプリンタ本体の液晶モニターの表示を見て、プリンタ本体のボタンを操作します

❶インクを詰め替えるタイミング

プリンタ操作パネルのエラーランプが点灯し、液晶モニタに右のようなメッセージとエラー表示がされましたら、なくなったインクタンクのインクを詰め替えてください。

⚠ 注意
この前の段階で（!）が表示されている時に詰め替えてもかまいませんが、その後にこれらの表示が出てきます。

〈液晶モニタの表示〉

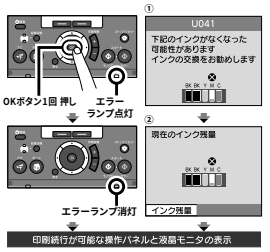
❷ 詰め替えたインクタンクをプリンタに取付ける

つめ替えたインクタンクを取付けても、赤ランプは点滅したままです。
（インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます）

❸ 詰め替えた後の印刷続行

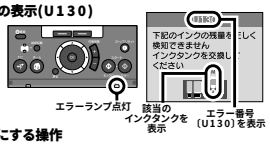
詰め替えたインクタンクをプリンタに取付けた後、操作パネルのエラーランプが点灯していて、液晶モニタ表示が（①）のインクがなくなった時と変っていない場合は、**操作パネルのOKボタンを1回押してください。**エラーランプが消え、液晶モニタが②の表示となり印刷続行が可能となります。②の液晶モニタには（×）が表示されたままですが、OKボタンの操作によりエラーが解消されたので、印刷が続行できます。

⚠ 注意
はじめから操作パネルのエラーランプが消えていて、液晶モニタ表示も②となっている場合はボタン操作の必要はありません。



❹ インク残量検知機能エラーの表示(U130)

印刷続行が可能となった後に液晶モニタに右のようなメッセージとエラーが表示され、操作パネルのエラーランプが点灯していましたら、次の「**⑤インク残量検知機能を無効にする操作**」を行ってください。



❺インク残量検知機能を無効にする操作

①ストップ/リセットボタンを**5秒以上押し続けて**ください。
②自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。
③操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。

⚠ 注意
●インク残量検知機能を無効にしたインクタンクは、タンクの赤ランプが消えた状態となります。いったん取り外して、付け直した時には点滅となります。
●インク残量検知機能を無効にした後は表示が出ませんので、インクタンクの実際の量を確認して早めに詰め替えてください。
●インク残量検知機能は操作をしたインクタンクだけ無効となり、新品インクタンクに交換すれば再び有効となり、動作します。

❻ 完了

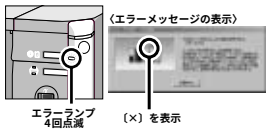
※ キヤノンMP600でBCI-7eMを使用時の操作例です。

iPシリーズ　基本的にパソコン画面のエラーメッセージ表示とステータスモニターの表示を見て、プリンタ本体のボタンを操作します。

❶インクを詰め替えるタイミング

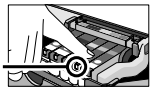
プリンタ操作パネルのエラーランプが4回点滅し、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されましたら、なくなったインクタンクのインクをつめ替えてください。

⚠ 注意
この前の段階で（!）が表示されている時に詰め替えてもかまいませんが、その後にこれらの表示が出てきます。



❷ 詰め替えたインクタンクをプリンタに取付ける

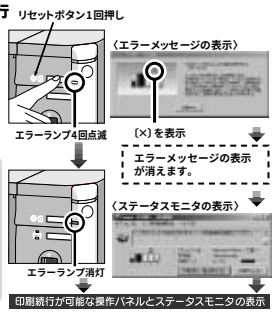
詰め替えたインクタンクを取付けても、赤ランプは点滅したままです。（インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます）



❸ 詰め替えた後の印刷続行

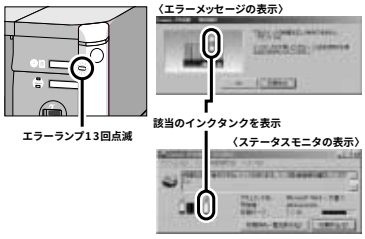
詰め替えたインクタンクをプリンタに取付けた後、操作パネルのエラーランプが4回点滅していて、エラーメッセージの表示も変っていない場合は、**操作パネルのリセットボタンを1回押してください。**エラーランプが消え、パソコンの画面にはエラーメッセージの表示が消え、ステータスモニタの表示のみとなり、印刷続行が可能となります。

⚠ 注意
●はじめから操作パネルのエラーランプが消えていて、エラーメッセージが現れない場合はボタン操作の必要はありません。
●印刷中のステータスモニタには（×）が表示されたままとなりますが、リセットボタンを操作したことによりエラーが解消されたので、印刷が続行できます。



❹ インク残量検知機能エラーの表示(エラーランプ13回点滅)

印刷続行の操作後にプリンタが停止し、パソコンの画面にエラーメッセージとステータスモニタが表示され、操作パネルのエラーランプが13回点滅した状態になりましたら、次の「**⑤インク残量検知機能を無効にする操作**」を行ってください。



❺ インク残量検知機能を無効にする操作

①リセットボタンを**5秒以上押し続けて**ください。
②自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。
③操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。

⚠ 注意
●インク残量検知機能を無効にしたインクタンクは、取り付けた状態ではタンクの赤ランプが消えています。いったん外して、取付け直したあとは点滅となります。
●インク残量検知機能を無効にした後は表示が出ませんので、インクタンクの実際の量を確認して早めに詰め替えてください。
●インク残量検知機能は操作をしたインクタンクだけ無効となり、新品インクタンクに交換すれば再び有効となり、動作します。

❻ 完了

※ キヤノンiP4300 でBCI-7eM インクタンクを使用時の操作例です。

5 クリーニング・印字テスト

最初にクリーニングを1回行い、印字テストを行ってください。プリントがよくない場合は、もう一度クリーニングと印字テストを行ってください。クリーニングと印字テスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。クリーニングの繰り返しはインクカートリッジの寿命が短くなります。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合は60分程度、時間をおいてからクリーニングを行い、印字テストをしてください。

●つめかえが終わったら

つめかえた後の残ったインクは、ノズルキャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け、涼しい乾燥した所に立て、次のつめかえまで保管してください。

●2回目以降のつめかえ

キャップでフタをする、もしくは工具にセット後、インク注入口に差し込んだプラグを引き抜きます。③の手順でつめかえを行い、終了したら外したプラグを再度しっかりと注入口にフタをします。

⚠ 注意　外したプラグは再度使用しますのでしっかり保存してください。

●つめかえ回数

つめかえインクによるカートリッジの再使用は、3～4回までが適当です。それ以上のつめかえは、インク供給に不都合を生ずることがあります。その際は、新しいカートリッジをお買い求めください。

キヤノン
BCI-24 Color、BCI-24 Black
BCI-15 Color、BCI-15 Black
のつめかえ方法

●ご使用に際しては、必ず説明書をよく読んでから、つめかえ作業を行ってください。
●対応カートリッジ以外にはご使用になれませんので、ご注意ください。

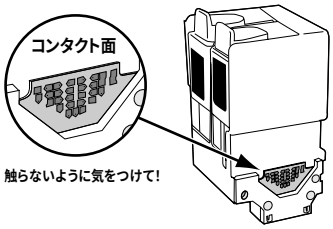
最初にご確認ください。

必要なもの
●インク
※このタイプのつめかえには、穴あけネジ、プラグ、インク、供給口キャップは使用しません。

準備1 汚れ防止のための準備

●つめかえのときにインクがこぼれて、周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙またはペーパータオルなどを用意し、その上でつめかえを行ってください。
●つめかえ作業中は、市販のポリ手袋をご使用になることをおすすめします。

⚠ **注 意**　**カートリッジのプリントヘッド面・コンタクト面には絶対に触れないでください。トラブル発生の原因となります。**

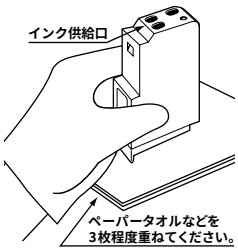


---

1 インクカートリッジの準備

カートリッジをプリンタから取り外し、ペーパータオルなどの上にインク供給口を上に向けます。インク補充の際にインクが漏れるのを防ぐため、供給口に付着しているインクを完全に拭き取ります。

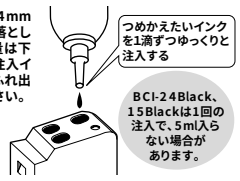
※BCI-15シリーズのカートリッジは少し形が違います。
※ブラックカートリッジの場合は、供給口は1つです。



⚠ 注意
インクを完全に拭き取らないとインクがこぼれる恐れがあります。

2 インクを注入する

インク供給口のスポンジ面から3～4mmの高さにノズルを合わせ、1滴ずつ落としながらインクを注入します。注入量は下記の表を参照にしてください。又、注入インクの吸収速度が遅くなったり、あふれ出そうになったら注入を中止してください。



⚠ 注意　インクを入れ過ぎますとカートリッジの空気穴からインクが漏れ出ることがあります。

●インク注入量

インク注入量は、下記の表を参考にしてください。表示してあるインク注入量は、カートリッジ内のインクがなくなったときの目安です。

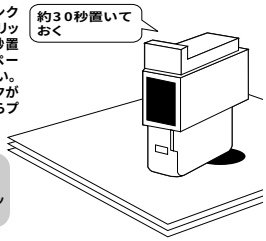
カートリッジ	BCI-24 Black	BCI-15 Black	BCI-24 Color	BCI-15 Color
つめかえ量（約）	5ml	5ml	3ml	2ml

※インクは絶対に表示注入量以上にいれないでください。

---

3 余分なインクを除く

注入が終わったらこぼれたインクを拭き取ってください。カートリッジの供給口を下にして約30秒置いて、余分なインクをテッシュペーパーなどに染み込ませてください。その後、インク供給口からインクが出てこないことを確かめてからプリンタにセットしてください。



⚠ 注意
インクがこぼれた状態でカートリッジをプリンタに装着しないで下さい。

4 クリーニング・印字テスト

最初にクリーニングを1回行い、印字テストを行ってください。プリントがよくない場合は、もう一度クリーニングと印字テストを行ってください。クリーニングと印字テスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。クリーニングの繰り返しはインクカートリッジの寿命が短くなります。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合は60分程度、時間をおいてからクリーニングを行い、印字テストをしてください。

●つめかえが終わったら

つめかえた後の残ったインクは、ノズルキャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け、涼しい乾燥した所に立て、次のつめかえまで保管してください。

●2回目以降のつめかえ

インクが残った場合は①～④の作業を行います。

●つめかえ回数

つめかえインクによるカートリッジの再使用は、3～4回までが適当です。それ以上のつめかえは、インク供給に不都合を生ずることがあります。その際は、新しいカートリッジをお買い求めください。

安全上の注意 ⚠

次の注意事項は、つめかえる時の危害や損傷を未然に防ぎ、つめかえインクセットを正しく安全にお使い頂くためのものです。
●つめかえは新聞紙などを敷いて、そのうえで行ってください。
●つめかえる時にインクがこぼれ、周辺が汚れる事があります。ティッシュペーパーもしくはペーパータオルなどをあらかじめご用意ください。
●本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐには消えません。ご使用に際しては注入する時の他は、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持たないようにしてください。
インクボトルのノズルの先からインクが飛び出したり、こぼれ落ちて身体や衣類に付着しないように注意してください。

注意 ⚠

●子供の手の届く所に置かないでください。
●飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医者の診断を受けてください。
●目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流してください。
●カートリッジをプリンタから取り外したり、取り付けたりする時には、プリンタの取扱説明書の指示に従ってください。
●インクは開封後1年以内にご使用ください。

保管

つめかえした後の残ったインクは、ノズルキャップをしっかりして、直射日光の当たるところ及び、高温多湿の場所は避け、涼しい乾燥した所で保管してください。インクの漏れを防ぐために容器は立てて保管してください。

サンワサプライ株式会社　2007.5現在

岡山サプライセンター／〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター／〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所／〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 ☎011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所／〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宮城仙台ビル ☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所／〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビルLF ☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所／〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル ☎06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所／〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX.092-471-8078
金沢 ☎076-222-8384

07/05/KSDaOm